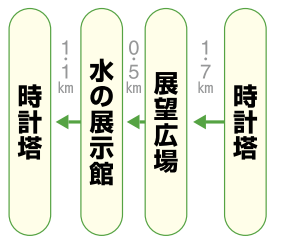


3 水と緑を楽しみながら調整池周辺を歩く

万場レイクサイド「コース」

ばんばりいっくさん



コースデータ
 総距離 ●約6.6km (3.3km×2)
 所要時間 ●約1時間35分

万 場調整池周辺の遊歩道を2周するコースです。この万場調整池は、多目的な用水機能を持ち、私達の生活に大きく結びついています。池の周りには、カシ、シイ、ケヤキなどの高木とツツジ、あじさいなどの低木がバランスよく植えられ、緑地公園として利用されています。

交通案内 J・R・名鉄豊橋駅から豊橋橋道渥美線で「大清水」下車。豊橋鉄道バス（レイクタウン線）で「レイクヒルズ入口」下車。徒歩約15分

万場調整池

ばんばりいっくさん

丘陵地を掘鑿して造られた表面遮水壁型フィルダム堤高28・6mの人工池です。満水面積343ha、有効貯水量500万m³の規模で、豊川総合用水事業により、平成元年「1989」に主要工事が完工しました。この水は豊川（宇連川）が豊水時に、豊川用水東部幹線水路から取水して貯めています。貯めた水は、上水道及び工業用水は取水塔から豊橋南部配水場へ送水され、農業用水は池底の取水口からふたたび東部幹線水路に戻り、下流の水需要に対応しています。周回道路は平坦であるので、エコカーなどの競技に利用されています。



水の展示館

みずのてんじかん

豊橋市の水の展示館は、平成4年「1992」4月、豊橋市西赤沢町大坂の万場調整池管理事務所1階に豊橋市によって開設されました。建物は鉄筋コンクリート造り3階建ての1階で、展示面積は193m²です。展示内容は「豊川」とその水を有効に利用することを目的として



万場緑地

ばんばりいっくさん

池の周りは豊橋市の万場緑地となっています。調整池の周りに広がる緑地で、シラカシ、シイ、ケヤキ等の高木とツツジ、あ

造られた「豊川用水」を展示の中心として、水と自然界・人間の関わり、豊川・豊川用水と東三河地方とのかかわり、そして人間が生活するなかでいかに水にかかわっているかを「水と人間」「豊川と豊川用水」「水と生活」の3ゾーンでわかりやすく展示しています。また、展示館の屋上から万場調整池がよく見えます。



じさいが植えられています。また、くだものや野菜の形をした遊具として、さつまいもトンネルや、ねぎのロープ渡りなどがあります。万場緑地西端の堤防下にはフィールドアスレチック施設があります。また全長120mの長大すべり台もあり、子ども達を楽しませています。

3 万場レイクサイド「コース」 水と緑を楽しみながら調整池周辺を歩く